

2008 年度

科目名  文化財特殊講義Ⅳ（保存・分析）B	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者  三辻 利一
授業テーマ 蛍光X線分析による土器の産地推定		
授業の概要と目標 「新しい土器の考古学」の考え方にしたがって、大阪大谷大学博物館に設置してある蛍光X線分析装置を使って、土器の産地を推定する方法を学ぶと同時に、実際に、データを使って種々の統計計算を行い、土器の産地を推定する。		
評価方法 レポートと出席日数で評価する。		
テキスト とくになし。	著者	出版社
参考書 講義の都度、紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. ボーアの原子模型 2. 元素の周期律 3. 蛍光X線発生の原理 4. 蛍光X線スペクトル 5. 定性分析 6. 定量分析 7. K-Ca、Rb-Sr分布図の作成（地域差の発見） 8. 検定（母集団への帰属条件） 9. 標準偏差と変動係数の計算 10. マハラノビスの汎距離計算 11. 2群間判別分析 12. 須恵器の産地推定 13. 埴輪の胎土研究 14. 軟質土器の胎土研究		